

## 行政報告の主な内容（8課14項目）

- (1) 町立病院      ・ 医師の名義借り状況
- (2) 上下水道課      ・ 十勝沖地震による被害状況  
                    ・ 清富地区飲料水供給施設の供用開始
- (3) 町民生活課      ・ 合併浄化槽設置事業利用状況
- (4) 企画調整課      ・ 広域行政等の経過  
                    ・ 自衛隊関連行事  
                    ・ 平成16年度予算要望運動
- (5) 総務課          ・ 町表章式
- (6) 農業振興課      ・ 農作物生産状況
- (7) 商工観光まちづくり課  
                    ・ 観光客の入り込み状況  
                    ・ 白銀荘、オートキャンプ場施設利用状況
- (8) 社会教育課      ・ パークゴルフ場の利用状況  
                    ・ 総合文化祭
- (9) 総務課          ・ 建設工事発注状況

# 行政報告

(平成15年12月定例町議会)

議員各位におかれましては、公私共に何かとご多用のところ、第4回定例町議会にご出席いただき、誠にありがとうございます。

この機会に、去る9月定例町議会以降における町政執行の概要について報告させていただきます。

## (町立病院行政報告)

はじめに、病院における「医師名義借り」に関しては、これまで、大学病院の医師からの名義借り等が多くの病院で行われていることが新聞、テレビ等で報道され、社会問題として、クローズアップされているところであります。

当町立病院においても、医師の確保には大変苦慮している中、福祉施策の推進並びに医療体制の整備を図るため、万やむなく医師の名義を借りたことにより、社会的批判を受け、町民各位にご心配をおかけし、信頼を損ねることになりましたことに対して大変申し訳なく、町議会並びに町民各位に対して深く陳謝申し上げる次第であります。

医師の勤務実態等につきましては、先に報告申し上げたとおりであり、過般11月25日、26日の両日、北海道富良野保健所が、過去5年間の医師の勤務実態等について町立病院に立ち入り調査が実施されたところであります。

この調査結果については、同保健所より北海道保健福祉部、北海道社会保険事務局等に報告され、業務改善に関し、なんらかの措置が講じられるものと考えます。このことにつきましては、後日、町議会並びに町民各位に報告申し上げます。

「医師名義借り」は恒常的に医師確保が困難の中、長年の慣習とはいえ、大きな社会問題として提起された今、この事態を重く受け止め、町議会並

びに町民各位に重ねて衷心よりお詫び申し上げます。

今後、このようなことを二度と起こさないよう厳正な業務執行に努め、町民皆さんの信頼回復に努めてまいります。

#### (上下水道課行政報告)

次に、9月26日発生いたしました十勝沖地震による水道関係の被害状況についてであります。簡易水道の深井戸を水源としております、江花、静修、里仁の各水源に濁りが5日間に亘って生じたところでございます。その濁りが収まるまでの間、給水所の設置、配水池へのタンク車による貯水をしながらの給水と、深山峠地区の観光施設等においては個別に給水し、これらに係る費用について予算の専決処分を行い、対応を図ったところであります。この間、地域住民の御協力に対しまして、心から感謝申し上げます。

現在は、余震等の影響も無く正常に給水している状況にありますが、引き続き水質を監視しながら安全で良質な飲料水の安定供給に努めてまいります。

次に、清富地区の飲料水につきましては、平成13年度に厚生労働省の事業認可及び補助採択を受けて、平成14年度に実施設計と取水施設及び浄水施設の整備、本年度は配水管の布設と各戸への給水施設を整備し、12月1日から供用を開始しました。12月6日には地域主催の竣功式及び祝賀会が開催され、施設の完成を祝ったところであります。

#### (町民生活課行政報告)

次に、合併浄化槽設置事業であります。計画設置数を5人槽換算30基により、公共下水道整備計画区域を除く区域の住民を対象に設置希望調査を行ったところ、新築で11件、改築で64件、単独浄化槽設置改修10件の希望がありました。

この希望をもとに、優先順位を、新築、改築、単独浄化槽改修の順と定め、4月10日に改築希望者53人の参加のもと、抽選を行い、対象者を決定して事業を推進してまいりました。また途中、2件の新築予定の方が中止をしたことなどから、最終的に、新築9件、改築19件の計28件で、7人槽が12基、5人槽が16基の設置となったところであります。

### ( 企画調整課行政報告 )

次に広域行政等の経過についてであります。9月4日の富良野地区広域市町村圏振興協議会の委員会において、懸案でありました広域連合準備委員会の来年度からの立ち上げについて協議したところ、すでに南富良野町と占冠村の合併の協議が始まっていることから、第27次地方制度調査会の最終答申を踏まえ協議することになっていたところであります。

11月13日に、内閣総理大臣へ第27次地方制度調査会から最終答申され、この最終答申を踏まえたうえで、11月29日に富良野地区広域市町村圏振興協議会の委員会で、今後の広域行政の進め方について協議をしたところであります。

この中で、南富良野町と占冠村につきましては、今年中にも任意合併協議会を設立することから、現在のところ広域連合について、合併と同時に協議を進めていくことは困難とのことで、5市町村の枠組みによる広域連合の協議については、当面凍結することになったところであります。

また、この委員会において、上富良野町・中富良野町・富良野市で、なんらかの形での広域連携について方策が必要なことから、3市町で広域行政の取り組みについて、今後、協議を進めることとなりました。

また、一方では自立を前提とした、行財政のあり方について早急に研究協議を行い、実践していかなければならないことから、上川管内で人口1万人を超えている町として、11月に美瑛町と共同で自立のための行財政の

あり方を研究するため、「美瑛町・上富良野町行財政研究会」の発足を確認し、自主自立のための様々な方策について、お互いに学びあう中で、来年3月をめどに研究を進めていきたいと考えております。

次に自衛隊関係であります。10月5日多田弾薬支処創立47周年記念行事に多くの来賓、町民とともに参加いたしました。10月11日から12日には、北部方面音楽祭り、北部方面隊51周年記念式典に、10月18日北部方面、後方支援隊3周年記念式典に、それぞれ出席いたしました。

次に中央要望については、16年防衛施設周辺整備対策事業・基地交付金・施設庁所管事業関係について、全道基地協議会役員とともに11月26日から27日に総務省・財務省・防衛庁・防衛施設庁に対し要望を行ってまいりました。引き続き駐屯地と基地の町としての協力関係を維持し防衛予算確保に努めてまいります。

#### （総務課行政報告）

12月2日に上京して全国観光地所在町村協議会総会、その後東京ふらの会総会、翌日の3日には全国町村長大会に、それぞれ出席してまいりました。

特に全国町村長大会では、町村の危機的状況から緊急重点決議として、強制的に市町村合併をしないこと、すべての市町村を基礎的自治体と位置付け権限の剥奪・制限・縮小は行わないこと、地方交付税の財源調整・保障機能を堅持し必要総額を確保すること、税源移譲等により町村税財源の充実確保など地方への負担転嫁を行わないことを決議してまいりました。

次に11月3日に平成15年度の町表彰式を挙行しました。菅野學名誉町民はじめ多くの皆様のご列席をいただき、町の関係では自治功労3人、社会貢献賞10人、善行表彰4人、さらに勤続表彰と国保優良家庭の方々を表彰させていただきました。また、教育委員会表彰関係は、文化賞1人、

科学技術奨励賞 1 人、スポーツ賞 1 人、スポーツ功労賞 2 人、スポーツ奨励賞 2 団体 6 人を表彰したところであります。

### （農業振興課行政報告）

次に農業関係であります。今年の農作物の生育状況については、春先は好天に恵まれ農作物の生育も順調に推移してまいりましたが、7月初旬以降、9月にかけての低温・日照不足により、水稲をはじめ一部農作物に被害を受けたところであります。

特に水稲については、平成5年以来の凶作となるところであり、その被害額は、約3億4千万円となる見込みであります。

畑作物については、一部の野菜に価格下落があったものの、小麦、馬鈴薯、ビート、豆類等については最終の状況に至っておりませんが、町全体として収穫量及び農業粗生産額は平年を上回る見込みと伺っております。

なお、被害を受けた農業者に対しましては、被害状況に応じて、天災資金等の融資、公庫資金等の償還猶予対策等の支援を行ってまいります。

### （商工観光まちづくり課行政報告）

次に観光関係についてであります。今年度上半期の観光客の入込み者数は、74万6,800人と前年度対比97.1%となったところであります。特徴的なものは、宿泊客が昨年度に比べて6.8%増加しておりますが、外国人の入込み者数は「サーズ」の影響から75%の減少となっているところです。

また、町が上富良野振興公社に委託をしております各施設の利用状況につきましても、保養センター白銀荘の利用者は、11月末の前年対比で5,495人減の10万2,094人、利用率94.9%となっております。日の出オートキャンプ場は10月25日で本年度の営業を終え、その利用状況は有料入場者数10,382人と前年度対比では106.0%、地域別では道外者51.5%、

残り 48.5%の内、札幌市が 14.2%となっております。

### ( 社会教育課行政報告 )

次に、今年4月27日にオープンしたパークゴルフ場の利用状況であります。連日町民の皆さんをはじめ、近隣市町村からも愛好者が訪れ、11月3日までの190日間で41,403名、1日平均217名の方がプレーを楽しみ、11月3日の最終日を感謝の日といたしまして、無料をご利用いただき、閉鎖したところであります。

次に、第40回を迎えました町総合文化祭についてであります。11月1日から4日までの4日間、社会教育総合センターを会場に開催をしたところであります。

日頃の文化活動の発表の場として、文化連盟をはじめ多くの皆様の作品展示や芸能発表などが行われました。期間中4,118人の町民の参加をいただき盛会のうちに終了することができました。

### ( 総務課行政報告 )

最後に、建設工事の発注状況であります。9月定例議会に報告以降で入札執行した建設工事は、12月1日現在で12件、事業費総額3億4,581万7,500円となっており、本年度累計では、70件、事業費総額23億1,728万7,000円となっております。

なお、お手元に「平成15年度建設工事発注状況」を配付しておりますので、後ほどご高覧いただきたく存じます。

以上をもちまして、行政報告といたします。

